

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	輸血患者におけるダニ関連 α -gal 症候群の疫学研究
研究機関名	UPTICK 研究グループ
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者(個人情報管理者)	(診療科名) 輸血・細胞治療部 (職名) 部長 (氏名) 山之内 純
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 10 月 31 日
対象となる方	2020 年 1 月から 2024 年 12 月に当院を受診された方のうち血液型が O 型で濃厚血小板もしくは新鮮凍結血漿の輸血を受けた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 輸血製剤の種類、投与量、副作用 等
研究の概要(目的・方法)	A-gal 症候群 (AGS) は、ダニ刺咬によって発症する肉アレルギーである。AGS 患者の多くは、構造的に類似する血液型の B 抗原に対する IgE 抗体をも産生する。最近、B 型血小板または血漿を投与された少数の O 型患者において、重篤なアレルギー性輸血反応 (ATR) が報告されており、輸血関連 AGS (TRAGS) と呼ばれる新たな輸血反応の存在が示唆されている。そこで、O 型の受血者の ATR 発生率と地域の AGS 罹患率との関係を検証することを目的として、世界各国で調査を行う。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報 (対応表) は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。提供先が外国の研究機関や外国の企業の

	場合には、その国での個人情報の保護規定が定められていることを確認した上で、個人を特定できる情報を含まない形で提供します。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部 山之内 純 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5296

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	Richard Kaufman（ダートマス・ヒッチコック医療センター、米国ニューハンプシャー州）
共同研究機関	日本 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞治療部 佐藤智彦 福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座 池田和彦 京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部 新井康之 兵庫医科大学病院 輸血・細胞治療センター 吉原哲 愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部 山之内純
既存試料・情報の提供のみを行う機関	ダートマス・ヒッチコック医療センター、米国ニューハンプシャー州